

第26回農林害虫防除研究会東京大会プログラム

日時：令和4年8月26日（金）9:30～16:15

会場：オンライン開催（Zoomによるライブ配信）

主催：農林害虫防除研究会

共催：（一社）日本植物防疫協会

【開会】	開会挨拶	9:30
【一般講演】	講演12分、質疑5分（1鈴10分、2鈴12分、3鈴17分）	
	【講演1～3】 座長 茨城県銚田普及センター 高木 素紀	
1	殺虫剤抵抗性発達段階の区分指標 ○山本 敦司 ^{1,2} ・土井 誠 ^{1,3} ・井口 雅裕 ^{1,4} ・野田 隆志 ^{1,5} ・山我 岳史 ^{1,6} ¹ 農林害虫防除研究会・殺虫剤抵抗性対策TF, ² 日本曹達株, ³ 静岡県経済産業部, ⁴ 和歌山県かき・もも研, ⁵ 日植防, ⁶ JA全農宮農技術セ	9:40～9:57
2	殺虫剤抵抗性リスク評価表の問題点 森下 正彦 和歌山県海南市	9:57～10:14
3	ハウレンソウケナガコナダニ対策における防毒マスクのいらないカーバムナトリウム塩の処理方法の検討 ○本田善之 ¹ ・府賀 伸彦 ² ¹ 山口県農林総合技術センター、 ² ZMクローププロテクション（株）キルパー事務局	10:14～10:31
【一般講演】	【講演4～6】 座長 千葉県農林総合研究センター 大谷 徹	
4	ナミハダニ <i>Tetranychus urticae</i> Koch に対するオゾンの効果 ○杉山友香 ¹ ・高野友二郎 ² ・北嶋康樹 ¹ ¹ 茨城大学大学院農学研究科, ² 株式会社オーク製作所	10:31～10:48
5	ツマジロクサヨトウの防除に向けた細胞内共生細菌 <i>Wolbachia</i> の種間移植実験 ○ ¹ 岡田杏理・ ² 宮田真衣・ ¹ 野村昌史 ¹ 千葉大院 園芸・ ² 福井大 工	10:48～11:05
6	クリタマバチ（膜翅目：タマバチ科）成虫の日齢と体サイズが卵成熟に及ぼす影響 ○鄔亜嬌（ウー アキョウ） ¹ ・阿部芳久 ² ¹ 九州大学大学院地球社会統合科学府, ² 九州大学大学院比較社会文化研究院	11:05～11:22
	（休憩・総会準備）	11:22～11:30
【総会】		11:30～12:00

【昼食・休憩】		12:00～13:00
【特別講演】	テーマ：「離島の生態系・農業に及ぼす外来種の影響：小笠原諸島、伊豆諸島を例に」	
座長	趣旨説明 吉田正人（筑波大学, 小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員会委員）	13:00～13:05
講演1	世界自然遺産 小笠原諸島の生態系と外来種問題 大河内勇（元・森林総合研究所 / （一社）日本森林技術協会）	13:05～13:35
講演2	“カタツムリの島”小笠原諸島の陸産貝類の過去・現在・未来：農業との関係から 千葉聡（東北大学）	13:35～14:05
講演3	一難去ってまた一難：小笠原諸島・伊豆諸島における外来種としての農業害虫問題とその対策 大林隆司（東京都農林総合研究センター）	14:05～14:35
	質疑応答	14:35～14:50
	（休憩）	14:50～15:00
【一般講演】	【講演7～10】 座長（一社）日本植物防疫協会 野田 隆志	
7	東京都八丈島の主要品目栽培ほ場で発生する害虫とその被害 ○加藤綾奈 ^{1,3} ・松浦里江 ² ・鶴沢玲子 ² ・黒川康介 ² ・下野大輝 ² ・中野真弓 ¹ ・古川誠一 ⁴ ¹ 東京都八丈支庁, ² 東京都島しょ農林水産総合センター八丈事業所, ³ 現：東京都農林総合研究センター, ⁴ 筑波大学	15:00～15:17
8	ヨコヤマヒメカミキリは利島におけるツバキの重要害虫になりえるか？ ○押野任志 ¹ ・加藤綾奈 ² ・木下沙也佳 ³ ・久保田まや ² ・大井田寛 ¹ ¹ 法政大学生命科学部応用植物科学科, ² 東京都農林総合研究センター, ³ 東京都島しょ農林水産総合センター大島事業所	15:17～15:34
9	キャベツに侵入するミミズ類防除には殺虫剤の地上散布は不適 ○古川あずさ・井手洋一 佐賀県農業試験研究センター	15:34～15:51
10	フルオピラム水和剤のシバザクラのナミクキセンチュウへの影響 ○星野 滋 ¹ ・岩本有紀子 ² ・吉弘智子 ³ ・田部大 ³ ¹ 広島県立総合技術研究所農業技術センター, ² 広島県西部農業技術指導所, ³ 広島県東部農業技術指導所	15:51～16:08
【閉会】	閉会挨拶・案内等	16:08